



平成20年10月10日

上場会社名 株式会社 イズミ  
コード番号 8273

上場取引所 東証一部・大証一部  
URL <http://www.izumi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山西 泰明  
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 檀上 征彦 TEL (082) 264-3211  
半期報告書提出予定日 平成20年11月27日 配当支払開始予定日 平成20年10月28日

(百万円未満切捨て)

## 1. 20年8月中間期の連結業績 (平成20年3月1日～平成20年8月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		中間(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年8月中間期	247,019	6.9	10,287	△14.7	10,086	△14.5	4,721	△26.6
19年8月中間期	231,162	6.1	12,058	2.4	11,802	0.5	6,434	14.8
20年2月期	470,698	—	24,798	—	24,763	—	13,664	—

	1株当たり中間 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり中間 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年8月中間期	49	87	44	01
19年8月中間期	61	94	55	24
20年2月期	135	10	120	14

(参考) 持分法投資損益 20年8月中間期 50百万円 19年8月中間期 △3百万円 20年2月期 147百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20年8月中間期	376,706		109,964		27.2	1,080	88	
19年8月中間期	340,266		109,663		30.7	1,006	33	
20年2月期	355,588		105,646		27.6	1,037	63	

(参考) 自己資本 20年8月中間期 102,329百万円 19年8月中間期 104,542百万円 20年2月期 98,235百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年8月中間期	28,521		△18,023		△7,623		12,306	
19年8月中間期	14,300		△10,640		△4,834		10,429	
20年2月期	25,247		△27,416		42		9,429	

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
(基準日)	円 銭	円 銭	円 銭
20年2月期	8 00	8 00	16 00
21年2月期(実績)	8 00	-	
21年2月期(予想)	-	8 00	16 00

## 3. 21年2月期の連結業績予想 (平成20年3月1日～平成21年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	508,000	7.9	23,200	△6.4	21,900	△11.6	12,900	△5.6	136	26

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無
- (2) 中間連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更に記載されるもの）

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 有

〔(注) 詳細は、17ページ「中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更」をご覧ください。〕

## (3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数 20年8月中間期 123,117,420株 19年8月中間期 123,117,420株  
（自己株式を含む） 20年2月期 123,117,420株
- ② 期末自己株式数 20年8月中間期 28,445,173株 19年8月中間期 19,233,077株  
20年2月期 28,443,812株

(注) 1株当たり中間(当期)純利益（連結）の算定の基礎となる株式数については、19ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

## (参考) 個別業績の概要

## 1. 21年2月中間期の個別業績（平成20年3月1日～平成20年8月31日）

## (1) 個別経営成績

(%表示は対前年中間期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		中間(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年8月中間期	217,140	12.6	8,119	△ 17.5	7,880	△ 17.5	3,993	△ 18.9
19年8月中間期	192,886	4.9	9,845	0.3	9,552	△ 1.8	4,922	△ 2.7
20年2月期	396,984	—	20,000	—	19,402	—	10,639	—

	1株当たり中間(当期)純利益	
	円	銭
20年8月中間期	42	18
19年8月中間期	45	85
20年2月期	102	55

## (2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20年8月中間期	297,441	79,318	26.7	837	80
19年8月中間期	252,901	93,989	37.2	875	48
20年2月期	272,200	76,029	27.9	803	05

(参考) 自己資本 20年8月中間期 79,318百万円 19年8月中間期 93,989百万円 20年2月期 76,029百万円

## 2. 21年2月期の個別業績予想（平成20年3月1日～平成21年2月28日）

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	470,000	18.4	18,400	△ 8.0	17,300	△ 10.8	17,700	66.4	186	96

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、4ページ「1. 経営成績(1) 経営成績に関する分析」をご覧ください。

## 1 経営成績

### (1) 経営成績に関する分析

当中間期の我が国の経済は、サブプライムローン問題による米国経済の減速や原油・原材料市況の急激な高騰が、企業収益の減少や設備投資の弱含み、金融市場の混乱を招き、景気後退の様相を帯びてまいりました。個人消費におきましても、雇用や賃金、年金への不安が高まる中、食料品やガソリン等の価格上昇が生活を直撃し、消費者心理は一段と悪化するなど小売業界にとって厳しい環境が続きしました。

このような状況のもと、当グループは引き続きお客様満足の獲得を目指して経営・業務の革新にスピードを持って取り組んでまいりました。しかしながら、消費不振により売上高が低迷したことに加え、店舗新設及び既存店舗増床による創業経費負担増加などにより、当中間期の業績は以下の通り増収減益となりました。

営業収益は、2,470億19百万円と前中間連結会計期間と比べ158億56百万円（6.9%）の増収

営業利益は、102億87百万円と前中間連結会計期間と比べ17億71百万円（14.7%）の減益

経常利益は、100億86百万円と前中間連結会計期間と比べ17億15百万円（14.5%）の減益

中間純利益は、47億21百万円と前中間連結会計期間と比べ17億12百万円（26.6%）の減益

当グループの中核である総合小売事業における商品部門別の状況は以下の通りです。

衣料品部門では、生活防衛意識の高まりによる買い控え傾向に苦慮しつつも、確実な需要が見込まれる歳時商材の拡充や積極的な価格対応による競争力の獲得を図るとともに、週単位で品揃えを変化させる新鮮な売場作りを推し進めてまいりました。この結果、売上高は503億82百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

住居関連品部門では、競合店にない当社独自の高付加価値商品の提供で差別化を図るとともに、価格訴求商品も拡充し消費者のニーズに対応いたしました。さらに、天候や需要動向に即応した品揃えの実現に努めました。この結果、売上高は214億74百万円（前年同期比4.4%増）となりました。

食料品部門では、節約志向の高まりに対応して価格等を訴求した「くらし応援宣言」の一段の拡充や内食化需要の取り込みを図るとともに、健康、安全・安心を切り口とした品揃えや地域生産業者と連携した魅力ある地産地消商材の提供に努めました。これらの結果、売上高は898億40百万円（前年同期比9.5%増）となりました。

賃貸店舗部門では、ファッション商材への買い控え傾向により既存店販売が減速したものの、新設店舗や既存店舗増床時において地域にこれまでなかった新ブランドを多数導入し、店舗の競争力向上を図りました。これらの結果、売上高は751億70百万円（前年同期比15.8%増）となりました。

なお、単体の既存店売上高前年比は次の通りです。

・全部門計99.5%、内 衣料品98.3%、住居関連品101.1%、食料品101.0%、賃貸店舗98.2%。

店舗面では、6月に島根県出雲市に山陰最大級となる「ゆめタウン出雲」（敷地面積 約106千㎡、店舗面積 約33千㎡、駐車台数 約3,100台）を新設、山陰初のブランドや10スクリーンを誇るシネマ・コンプレックスの導入により広域からの集客を見込んでおります。また、武雄店（佐賀県武雄市）、南岩国店（山口県岩国市）の増床を実施しており、競争力のある有力専門店の導入と回遊性の向上により付加価値の一段の向上を図りました。一方、彦島店（山口県下関市）およびシティパルク呉店（広島県呉市）を閉鎖いたしました。

その他の事業におきましては、外食事業のイズミ・フード・サービス(株)が得意業態に特化しつつ業容を拡大した一方、食品製造の(株)ゆめデリカ(旧(株)イワミ食品)がコア事業に特化するため事業再編したことにより、売上高は197億8百万円(前年同期比15.8%増)となりました。

## ②通期の見通し

通期の見通しは以下の通りです。

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
連 結	508,000	7.9	23,200	△ 6.4	21,900	△ 11.6	12,900	△ 5.6
単 体	470,000	18.4	18,400	△ 8.0	17,300	△ 10.8	17,700	66.4

\*単体の既存店売上高前年比は99.6%を見込んでおります。

\*新規出店といたしましては、11月に「ゆめタウン三豊」(香川県三豊市、店舗面積 約24千㎡)、12月に「ゆめタウン丸亀」(香川県丸亀市、店舗面積 約24千㎡)の新設を予定しております。また、既存店の増床といたしましては、行橋店(福岡県行橋市)、大牟田店・別館(福岡県大牟田市)を予定しております。

\*平成20年4月11日付取締役会決議に基づき、当社は連結子会社である(株)ゆめタウン熊本及び(株)エクセルを平成20年9月1日付で吸収合併いたしました。本合併は連結子会社との合併であり連結業績に与える影響は軽微ですが、当期純利益においては繰越欠損金引継ぎによる法人税額の減少を見込んでおります。また、個別業績予想については、合併以降の業容の拡大を織り込むとともに、抱合せ株式消滅差益の計上及び繰越欠損金引継ぎによる法人税額の減少を見込んでおります。

## (2) 財政状態に関する分析

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて211億18百万円増加し3,767億6百万円となりました。この増加は主に、期中に新設したゆめタウン出雲や下半期に开店予定のゆめタウン三豊やゆめタウン丸亀への設備投資により、有形固定資産等が増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて168億円増加し、2,667億41百万円となりました。これは主に、中間連結会計期間末日が銀行休業日であったことにより支払手形及び買掛金が増加したことや設備投資に伴い長期借入金が増加したことなどによるものであります。

純資産は、主として利益剰余金が増加したことを受け、前連結会計年度末に比べて43億17百万円増加の1,099億64百万円となりました。

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローが投資活動によるキャッシュ・フローと財務活動によるキャッシュ・フローの支出の総額を上回ったため、前連結会計年度末に比べて28億76百万円増加し123億6百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは285億21百万円となり、前中間連結会計期間に比べて142億21百万円増加しました。これは、中間連結会計期間末日が銀行休業日であったことにより仕入債務の資金決済が翌月初に持ち越されたことなどによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前中間連結会計期間が106億40百万円の支出であったのに対して、当連結会計年度は180億23百万円の支出となりました。これは主に昨年度に開店したゆめタウン別府やゆめタウン広島設備未払金の支払、及び期中に新設したゆめタウン出雲の設備資金支払によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前中間連結会計期間が48億34百万円の支出であったのに対して、当中間連結会計期間は76億23百万円の支出となりました。これは設備資金の調達により長期借入金が増加した一方、短期借入金が増加したことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成17年2月期	平成18年2月期	平成19年2月期	平成20年2月期	平成20年8月 中間期
自己資本比率	26.8%	28.3%	29.7%	27.6%	27.2%
時価ベースの自己資本比率	37.9%	66.5%	69.1%	40.0%	40.0%
債務償還年数	6.8年	5.9年	6.0年	6.4年	6.4年
インタレスト・カバレッジ・レシオ	13.6倍	16.7倍	16.8倍	16.0倍	15.2倍

①各指標の算出方法は以下のとおりです。

自己資本比率 : (純資産-少数株主持分) / 総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額 / 総資産

債務償還年数 : 有利子負債 / キャッシュ・フロー (中間期は年換算 (×2))

インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー / 利息の支払額

②各指標はいずれも連結ベースの財務数値によって計算しております。

③株式時価総額は、期末株価 × (期末発行済株式総数 - 自己株式数) により計算しております。

④キャッシュ・フローは、(中間)連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローから営業活動による債権債務の増減額を除いたものを使用しております。利息の支払額は、(中間)連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当

企業体質の強化を図りつつ、安定的に配当を継続してゆくことを重視しております。また、内部留保金につきましては、有利子負債削減などの財務体質の強化を図りながら、成長分野への戦略投資に充当してゆきたいと存じます。

なお、1株当たり配当金については中間配当金 8円00銭、期末配当金 8円00銭を予定しております。

## 2. 企業集団の概況

当グループは、平成20年8月31日現在、当社、連結子会社21社及び持分法適用会社8社で構成され、総合小売事業を中核に、これを補完するクレジット・金融事業、不動産事業及びその他の事業を展開しております。各事業における当社及び関係会社の位置付けは次のとおりであります。

## (1) 総合小売事業

事業内容 ショッピングセンター、ゼネラル・マーチャンダイジング・ストア(GMS)、スーパーマーケット等の業態による衣料品、住居関連品、食料品等の販売。当事業は当グループの中核事業であります

会社名 (株)イズミ、(株)ゆめタウン熊本、(株)ゆめ마트(旧 (株)ゆうあいマート)、(株)サングリーン

注) (株)イズミは、平成20年9月1日付で(株)ゆめタウン熊本を吸収合併し、同社の事業を承継しております。

## (2) クレジット・金融事業

事業内容 クレジット事業、ファイナンス事業および(株)イズミが発行するハウス・カードの管理事業。

会社名 (株)ゆめカード

## (3) インポート事業

事業内容 海外ブランド品の卸小売事業。

会社名 (株)エクセルおよびその子会社

注) (株)イズミは、平成20年9月1日付で(株)エクセルを吸収合併し、同社の事業を承継しております。

## (4) 不動産事業

事業内容 商業施設等の賃貸管理事業。

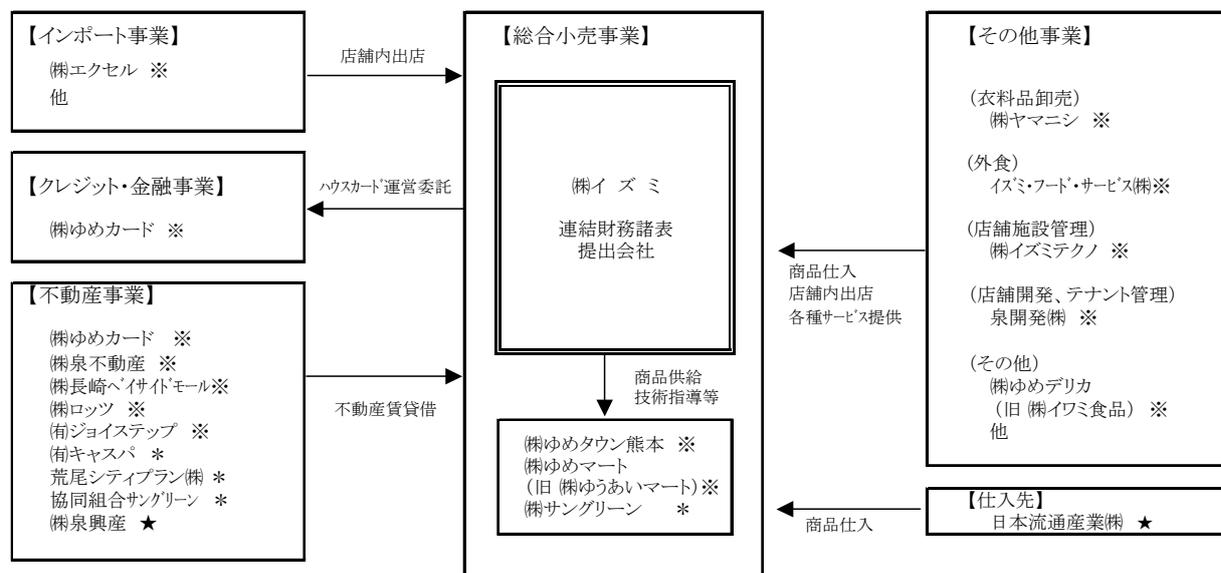
会社名 (株)ゆめカード、(株)泉不動産、(株)長崎ベイサイドモール、(株)ロッツ、(有)ジョイステップ、(有)キャスパ、荒尾シティプラン(株)、協同組合サングリーン

## (5) その他事業

事業内容 衣料品卸、外食、店舗施設管理、食品製造等

会社名 (株)ヤマニシ、イズミ・フード・サービス(株)、(株)イズミテクノ、(有)ジョイステップ、(株)ゆめデリカ(旧 (株)イワミ食品) 他

当グループの状況を事業系統図によって示すと、次のとおりであります



※ は連結子会社 \* は持分法適用会社 ★ は関連当事者

### 3 経営方針

#### (1) 会社の経営の基本方針

当社は、「お客様満足」こそが企業収益の源泉であり、「お客様満足」の最大化に努めることこそ、株主・取引先・従業員の皆様方などのご期待に応える最短の道と考えております。

マーケットの成熟化と競争激化という環境下にあります。お客様ニーズの変化へ適切に対応できる組織・人材の養成と、競争優位な分野への経営資源の選択的投入により、独自の付加価値を創造し、企業価値の着実な増大を図ってまいります。さらに、地域に密着した企業として、環境、雇用、文化への貢献を果たしてまいります。

#### (2) 会社の対処すべき課題

##### ① 店舗・商品・サービスの付加価値向上

当社は、お客様満足を高める上で「地域に密着することで得られる独自の強さ」を活かすべく、出店エリアを中国地方、四国地方及び九州地方に限定しています。これにより、地域特性へのきめ細かな対応を図ると同時に、規模、品揃えともに地域での競争優位を確立してまいります。

商品・サービス面においては、お客様のニーズを見極め、価値ある商品を値頃で提供すべく、取引先との連携を進め、企画・開発力の強化と適量かつスピーディーな発注・補充体制を築いてまいります。また、品揃え・鮮度・買い易さなどあらゆる面での売場レベルの向上に努め、快適で楽しい売場を実現してまいります。

##### ② 企業価値の増大を目指したグループ経営

各グループ企業がその事業領域を明確にし、相互に補完することで、イズミグループとして収益と成長を実現し、もって企業価値の増大を図ってまいります。

総合小売事業を中核とし、無駄のないスリムなグループ構造を維持すると同時に、クレジット・金融事業等とのシナジー効果を追求してまいります。

##### ③ 企業体質の強化

財務面におきましては、適正な投資活動を続ける一方で、店舗スクラップなど低収益資産の見直しを進め、事業資産の収益性を高めてまいります。同時に業務の見直しによるローコスト化の推進とキャッシュ・フローの創出力強化を通じ、有利子負債の返済能力を高め、株主価値を高めてまいります。なお、経営の遂行及び評価においては、成長性・収益性・安全性のそれぞれの観点から行い、状況に応じた柔軟な決定をしてまいります。

組織面では、お客様の変化に即応するために現場主導のフラットな組織を目指しておりますが、それを担う人材の養成と活性化を図るべく、能力主義を徹底し、機会均等と適材適所などを推進してまいります。

## 4 中間連結財務諸表

## (1) 中間連結貸借対照表

区分	前中間連結会計期間末 (平成19年8月31日)			当中間連結会計期間末 (平成20年8月31日)			前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成20年2月29日)		
	金額(百万円)		構成比 (%)	金額(百万円)		構成比 (%)	金額(百万円)		構成比 (%)
(資産の部)									
I 流動資産									
1 現金及び預金		10,429			12,306			9,429	
2 受取手形及び売掛金		11,246			14,498			12,245	
3 たな卸資産		24,895			24,927			26,218	
4 その他		20,687			20,943			21,065	
5 貸倒引当金		△1,697			△1,047			△1,744	
流動資産合計		65,561	19.3		71,628	19.0		67,213	18.9
II 固定資産									
1 有形固定資産									
(1) 建物及び構築物	117,824			131,195			124,366		
(2) 土地	103,759			111,782			106,766		
(3) 建設仮勘定	6,910			8,877			4,072		
(4) その他	9,966	238,460	70.1	9,940	261,796	69.5	10,558	245,763	69.1
2 無形固定資産		5,564	1.6		7,520	2.0		5,785	1.6
3 投資その他の資産									
(1) 投資有価証券	7,877			7,296			7,251		
(2) 差入敷金及び保証金	13,496			18,716			19,037		
(3) その他	10,153			11,077			11,287		
(4) 貸倒引当金	△847	30,679	9.0	△1,330	35,760	9.5	△752	36,824	10.4
固定資産合計		274,705	80.7		305,078	81.0		288,374	81.1
資産合計		340,266	100.0		376,706	100.0		355,588	100.0

区分	前中間連結会計期間末 (平成19年8月31日)		当中間連結会計期間末 (平成20年8月31日)		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成20年2月29日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(負債の部)						
I 流動負債						
1 支払手形及び買掛金	21,378		33,634		19,858	
2 短期借入金	44,528		27,649		41,410	
3 一年内に返済予定 の長期借入金	16,980		13,541		15,261	
4 一年内償還予定の 転換社債型 新株予約権付社債	-		19,075		-	
5 未払金	-		26,028		15,120	
6 賞与引当金	2,120		2,223		1,492	
7 役員賞与引当金	5		1		12	
8 ポイント割引引当金	686		851		699	
9 利息返還損失引当金	26		48		42	
10 商品券回収損失 引当金	-		57		-	
11 その他	23,696		10,905		11,772	
流動負債合計	109,422	32.2	134,016	35.6	105,669	29.7
II 固定負債						
1 転換社債型新株 予約権付社債	19,077		-		19,077	
2 長期借入金	62,832		97,363		88,724	
3 退職給付引当金	4,844		5,100		4,934	
4 役員退職慰労引当金	779		873		809	
5 債務保証損失引当金	1,100		1,100		1,100	
6 預り敷金及び保証金	23,422		25,093		25,362	
7 その他	9,124		3,194		4,264	
固定負債合計	121,180	35.6	132,725	35.2	144,272	40.6
負債合計	230,602	67.8	266,741	70.8	249,941	70.3
(純資産の部)						
I 株主資本						
1 資本金	19,613	5.8	19,613	5.2	19,613	5.5
2 資本剰余金	22,512	6.6	22,077	5.9	22,077	6.2
3 利益剰余金	82,469	24.2	92,804	24.6	88,841	25.0
4 自己株式	△ 21,675	△ 6.4	△ 33,411	△ 8.9	△ 33,409	△ 9.4
株主資本合計	102,920	30.2	101,084	26.8	97,123	27.3

区分	前中間連結会計期間末 (平成19年8月31日)		当中間連結会計期間末 (平成20年8月31日)		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成20年2月29日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
II 評価・換算差額等						
1 その他有価証券 評価差額金	1,670	0.5	1,298	0.3	1,246	0.3
2 繰延ヘッジ損益	14	0.0	-	-	△ 51	△ 0.0
3 為替換算調整勘定	△ 63	△ 0.0	△ 54	△ 0.0	△ 83	△ 0.0
評価・換算差額等 合計	1,622	0.5	1,244	0.3	1,112	0.3
III 少数株主持分	5,121	1.5	7,635	2.0	7,411	2.1
純資産合計	109,663	32.2	109,964	29.2	105,646	29.7
負債純資産合計	340,266	100.0	376,706	100.0	355,588	100.0

## (2) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年3月1日 至 平成19年8月31日)		当中間連結会計期間 (自 平成20年3月1日 至 平成20年8月31日)		前連結会計年度の 要約連結損益計算書 (自 平成19年3月1日 至 平成20年2月29日)				
	金額(百万円)	百分比 (%)	金額(百万円)	百分比 (%)	金額(百万円)	百分比 (%)			
I 売上高		220,428	100.0		235,638	100.0		449,214	100.0
II 売上原価		170,786	77.5		183,466	77.9		348,774	77.6
売上総利益		49,642	22.5		52,171	22.1		100,439	22.4
III 営業収入		10,734	4.9		11,381	4.8		21,484	4.7
営業総利益		60,376	27.4		63,553	27.0		121,924	27.1
IV 販売費及び一般管理費		48,317	21.9		53,265	22.6		97,125	21.6
営業利益		12,058	5.5		10,287	4.4		24,798	5.5
V 営業外収益									
1 受取利息	67			80			142		
2 受取配当金	112			118			329		
3 仕入割引	211			266			467		
4 債務勘定整理益	64			59			131		
5 為替差益	60			-			114		
6 負ののれん償却額	112			11			-		
7 その他	222	851	0.4	490	1,027	0.4	998	2,183	0.5
VI 営業外費用									
1 支払利息	763			945			1,611		
2 テナント退店補償	-			128			-		
3 その他	344	1,108	0.5	153	1,227	0.5	607	2,218	0.5
経常利益		11,802	5.4		10,086	4.3		24,763	5.5
VII 特別利益									
1 前期損益修正益	-			48			-		
2 固定資産売却益	561			0			980		
3 投資有価証券売却益	-			83			3		
4 貸倒引当金戻入益	-			40			100		
5 債務免除益	-			104			254		
6 その他	106	667	0.3	26	303	0.1	164	1,503	0.3
VIII 特別損失									
1 固定資産売却損	75			-			77		
2 固定資産除却損	74			677			392		
3 減損損失	736			152			1,134		
4 貸倒引当金繰入額	410			-			410		
5 商品券回収損失 引当金繰入額	-			57			-		
6 店舗撤去損	158			77			230		
7 その他	149	1,604	0.8	345	1,310	0.5	612	2,857	0.6
税金等調整前 中間(当期)純利益		10,864	4.9		9,080	3.9		23,409	5.2
法人税、住民税 及び事業税	4,597			4,236			9,874		
法人税等調整額	△ 160	4,436	2.0	10	4,247	1.9	316	10,191	2.3
少数株主利益 (△は損失)		△ 6	△ 0.0		111	0.0		△ 446	△ 0.1
中間(当期)純利益		6,434	2.9		4,721	2.0		13,664	3.0

## (3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間(自 平成19年3月1日 至 平成19年8月31日)

項 目	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年2月28日残高(百万円)	19,613	22,491	76,887	△21,761	97,231
中間連結会計期間中の変動額					
剰余金の配当			△858		△858
中間純利益			6,434		6,434
自己株式の取得				△6	△6
自己株式の処分		21		91	113
新規連結による増加高			5		5
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)					
中間連結会計期間中の変動額合計(百万円)	—	21	5,581	85	5,688
平成19年8月31日残高(百万円)	19,613	22,512	82,469	△21,675	102,920

項 目	評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成19年2月28日残高(百万円)	2,334	66	△24	2,376	5,397	105,005
中間連結会計期間中の変動額						
剰余金の配当						△858
中間純利益						6,434
自己株式の取得						△6
自己株式の処分						113
新規連結による増加高						5
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)	△663	△51	△38	△753	△276	△1,030
中間連結会計期間中の変動額合計(百万円)	△663	△51	△38	△753	△276	4,658
平成19年8月31日残高(百万円)	1,670	14	△63	1,622	5,121	109,663

当中間連結会計期間(自 平成20年3月1日 至 平成20年8月31日)

項 目	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成20年2月29日残高(百万円)	19,613	22,077	88,841	△ 33,409	97,123
中間連結会計期間中の変動額					
剰余金の配当			△ 757		△ 757
中間純利益			4,721		4,721
自己株式の取得				△ 4	△ 4
自己株式の処分		0		1	2
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)					-
中間連結会計期間中の変動額合計(百万円)	-	0	3,963	△ 2	3,961
平成20年8月31日残高(百万円)	19,613	22,077	92,804	△ 33,411	101,084

項 目	評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成20年2月29日残高(百万円)	1,246	△ 51	△ 83	1,112	7,411	105,646
中間連結会計期間中の変動額						
剰余金の配当						△ 757
中間純利益						4,721
自己株式の取得						△ 4
自己株式の処分						2
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)	52	51	29	132	224	356
中間連結会計期間中の変動額合計(百万円)	52	51	29	132	224	4,317
平成20年8月31日残高(百万円)	1,298	-	△ 54	1,244	7,635	109,964

前連結会計年度(自 平成19年3月1日 至 平成20年2月29日)

項 目	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年2月28日残高(百万円)	19,613	22,491	76,887	△21,761	97,231
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△1,717		△1,717
当期純利益			13,664		13,664
自己株式の取得				△11,739	△11,739
自己株式の処分		21		91	113
新規連結による増加高			5		5
連結子会社からの自己株式の取得による剰余金の減少(注)		△435			△435
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					—
連結会計年度中の変動額合計(百万円)	—	△413	11,953	△11,648	△108
平成20年2月29日残高(百万円)	19,613	22,077	88,841	△33,409	97,123

項 目	評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成19年2月28日残高(百万円)	2,334	66	△24	2,376	5,397	105,005
連結会計年度中の変動額						
剰余金の配当				—		△1,717
当期純利益				—		13,664
自己株式の取得				—		△11,739
自己株式の処分				—		113
新規連結による増加高				—		5
連結子会社からの自己株式の取得による剰余金の減少(注)				—		△435
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	△1,087	△117	△58	△1,263	2,013	749
連結会計年度中の変動額合計(百万円)	△1,087	△117	△58	△1,263	2,013	641
平成20年2月29日残高(百万円)	1,246	△51	△83	1,112	7,411	105,646

(注) 連結子会社からの自己株式の取得による剰余金の減少  
 連結子会社が保有する当社株式を取得したことに伴い、「連結財務諸表における税効果会計に関する実務指針」(会計制度委員会報告第6号)に基づいて連結子会社にて発生した株式譲渡益に対する税金費用を、資本剰余金から控除したことによるものであります。

## (4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年3月1日 至 平成19年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 平成20年3月1日 至 平成20年8月31日)	前連結会計年度の要約 連結キャッシュ・フロー 計算書 (自 平成19年3月1日 至 平成20年2月29日)
区分	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
<b>I 営業活動による キャッシュ・フロー</b>			
1 税金等調整前 中間(当期)純利益	10,864	9,080	23,409
2 減価償却費	5,662	6,395	11,845
3 減損損失	736	152	1,134
4 のれん及び負ののれん 償却額	△76	△11	△130
5 貸倒引当金の増減額	401	△119	352
6 受取利息及び受取配当金	△181	△199	△472
7 有価証券売却損益・ 評価戻入損益	72	△52	△3
8 支払利息	763	945	1,611
9 持分法による投資損益	3	△50	△147
10 有形固定資産売却益	△561	△0	△980
11 有形固定資産売却損	75	-	77
12 有形固定資産除却損	74	677	392
13 売上債権の増減額	△935	△2,253	△1,933
14 たな卸資産の増減額	608	1,291	△709
15 仕入債務の増減額	4,055	13,775	2,536
16 その他	△1,729	4,440	△188
小計	19,834	34,072	36,792
17 利息及び配当金の受取額	181	231	468
18 利息の支払額	△715	△812	△1,603
19 法人税等の支払額	△4,999	△4,968	△10,410
営業活動による キャッシュ・フロー	14,300	28,521	25,247
<b>II 投資活動による キャッシュ・フロー</b>			
1 有形固定資産の 取得による支出	△11,433	△17,767	△21,320
2 有形固定資産の 売却による収入	853	1,708	1,033
3 無形固定資産の 取得による支出	△219	△2,285	△893
4 投資有価証券の 取得による支出	△276	△99	△392
5 投資有価証券の 売却による収入	5	153	5
6 連結の範囲の変更を伴う子 会社株式の取得に係る収入	349	-	275
7 その他	80	267	△6,125
投資活動による キャッシュ・フロー	△10,640	△18,023	△27,416

	前中間連結会計期間 (自 平成19年3月1日 至 平成19年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 平成20年3月1日 至 平成20年8月31日)	前連結会計年度の要約 連結キャッシュ・フロー 計算書 (自 平成19年3月1日 至 平成20年2月29日)
区分	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
Ⅲ 財務活動による キャッシュ・フロー			
1 短期借入金の純増減額	644	△ 13,761	△ 2,474
2 長期借入れによる収入	9,400	16,900	42,460
3 長期借入金の返済による 支出	△13,994	△ 9,980	△ 22,975
4 自己株式の取得による支出	△6	△ 4	△ 8,789
5 親会社による配当金の 支払額	△858	△ 757	△ 1,717
6 少数株主への配当金の 支払額	△20	△ 20	△ 20
7 その他	—	—	△ 6,440
財務活動による キャッシュ・フロー	△4,834	△ 7,623	42
Ⅳ 現金及び現金同等物に係る 換算差額	△9	1	△ 58
Ⅴ 現金及び現金同等物の 増減額	△1,184	2,876	△ 2,184
Ⅵ 現金及び現金同等物の 期首残高	11,614	9,429	11,614
Ⅶ 現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	10,429	12,306	9,429

(5) 中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

①連結の範囲に関する事項

連結子会社の数 21社

㈱ゆめカード、イズミ・フード・サービス㈱、㈱イズミテクノ、㈱ゆめタウン熊本、㈱エクセル、その他 16社

注) 平成20年9月1日付で当社は㈱エクセル及び㈱ゆめタウン熊本を吸収合併しております。

②持分法の適用に関する事項

持分法適用の関連会社数 8社

㈱サングリーン、協同組合サングリーン、(有)キャスパ、荒尾シティプラン(株) 他4社

その他の事項に関しては、最近の半期報告書(平成19年11月27日提出)における記載から重要な変更がないため開示を省略しています。

(6) 中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更

会計処理方法の変更

商品券回収損失引当金の計上額について

当中間連結会計期間から、「租税特別措置法上の準備金及び特別法上の引当金又は準備金並びに役員退職慰労引当金等に関する監査上の取扱い」(日本公認会計士協会監査・保証実務委員会報告第42号平成19年4月13日)を適用し、提出会社及び一部の国内連結子会社が発行している商品券の未使用分について、一定期間後収益に計上したものに対する将来の使用に備えるため、「商品券回収損失引当金」を計上する方法に変更しております。

この変更に伴い、引当額57百万円を「商品券回収損失引当金繰入額」として特別損失に計上したため、税金等調整前中間純利益が同額減少しております。

表示方法の変更

(中間連結貸借対照表関係)

前中間連結会計期間において流動資産の「その他」に含めて表示しておりました「未払金」(前中間連結会計期間106億26百万円)については、資産総額の100分の5超となったため、当中間連結会計期間より区分掲記しております。

## (中間連結損益計算書関係)

前中間連結会計期間において営業外費用の「その他」に含めて表示しておりました「テナント退店補償」(前中間連結会計期間80百万円)については、営業外費用の総額の100分の10超となったため、当中間連結会計期間より区分掲記しております。

前中間連結会計期間において特別利益の「その他」に含めて表示しておりました「前期損益修正益」(前中間連結会計期間2百万円)については、特別利益の総額の100分の10超となったため、当中間連結会計期間より区分掲記しております。

また、前中間連結会計期間において特別利益の「その他」に含めて表示しておりました「債務免除益」(前中間連結会計期間65百万円)については、特別利益の総額の100分の10超となったため、当中間連結会計期間より区分掲記しております。

## (7) 中間連結財務諸表に関する注記事項

## ①セグメント情報

## a 事業の種類別セグメント情報

当社及び連結子会社の取扱い商品の種類、性質、販売市場類似性にて判別したところ、全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計に占める小売業の割合がいずれも90%を越えており、また、当該セグメント以外に開示基準に該当するセグメントはありませんので、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

## b 所在地別セグメント情報

在外連結子会社の売上高は、連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

## c 海外売上高

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

## ② 1株当たり情報

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年3月1日 至 平成19年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 平成20年3月1日 至 平成20年8月31日)	前連結会計年度 (自 平成19年3月1日 至 平成20年2月29日)
1株当たり純資産額	1,006円33銭	1,080円88銭	1,037円63銭
1株当たり中間(当期) 純利益金額	61円94銭	49円87銭	135円10銭
潜在株式調整後1株当 たり中間(当期)純利益 金額	55円24銭	44円01銭	120円14銭
	<p>当社は、平成19年3月1日付けで株式1株につき2株の株式分割を行っております。</p> <p>なお、当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合における1株当たり情報については、それぞれ以下のとおりとなります。</p> <p>(前中間連結会計期間)</p> <p>1株当たり純資産額 906円64銭</p> <p>1株当たり中間純利益金額 53円55銭</p> <p>潜在株式調整後1株当たり 中間純利益金額 47円60銭</p> <p>(前連結会計年度)</p> <p>1株当たり純資産額 959円49銭</p> <p>1株当たり当期純利益金額 125円90銭</p> <p>潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額 111円94銭</p>		<p>当社は、平成19年3月1日付けで株式1株につき2株の株式分割を行っております。</p> <p>なお、当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合における前連結会計年度の(1株当たり情報)の各数値は以下の通りであります。</p> <p>1株当たり純資産額 959円49銭</p> <p>1株当たり当期純利益 125円90銭</p> <p>潜在株式調整後1株当たり 当期純利益 111円94銭</p>

(注) 算定上の基礎

ア) 1株当たり中間(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益金額

	前中間連結会計期間 (自平成19年3月1日 至平成19年8月31日)	当中間連結会計期間 (自平成20年3月1日 至平成20年8月31日)	前連結会計年度 (自平成19年3月1日 至平成20年2月29日)
中間連結損益計算書上の中間 (当期)純利益(百万円)	6,434	4,721	13,664
普通株式に係る中間(当期)純 利益(百万円)	6,434	4,721	13,664
普通株式の期中平均株式数 (千株)	103,873	94,672	101,143
潜在株式調整後1株当たり中 間(当期)純利益の算定に用い られた普通株式増加数の主要 な内訳(千株)			
転換社債型新株予約権付社債	12,600	12,587	12,594

## イ) 1株当たり純資産額

	前中間連結会計期間末 平成19年8月31日	当中間連結会計期間末 平成20年8月31日	前連結会計年度末 平成20年2月29日
純資産の部の合計額(百万円)	109,663	109,964	105,646
純資産の部の合計額から控除 する金額(百万円) 少数株主持分	5,121	7,635	7,411
普通株式に係る中間期末の純 資産額(百万円)	104,542	102,329	98,235
1株当たり純資産額の算定に 用いられた中間期末の普通株 式の数(千株)	103,884	94,672	94,673

## (8) 開示の省略

リース取引、有価証券、デリバティブ取引については、中間決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため開示を省略しています。

## (9) 重要な後発事象

当社は平成20年9月1日付で、連結子会社株式会社ゆめタウン熊本（以下、「ゆめタウン熊本」）及び株式会社エクセル（以下、「エクセル」）を吸収合併しております。

## ①合併の目的

ゆめタウン熊本は、民事再生会社であった旧(株)ニコニコ堂より大型店舗を継承し小売業を営んでおります。これら大型店舗には当社が展開する大型店と同様の名称「ゆめタウン」という名を冠しており、当社の主力事業（ゆめタウンを中心とした小売業）と同一の事業内容であるため、これを吸収合併することで共通部門の統合や仕入・販促・物流等の一段の効率化を図ってまいります。

エクセルは、時計、貴金属等の多彩な海外ブランド品を値頃な価格で提供する専門店として業容を拡大してまいりました。しかし、昨今の海外ブランド品の販売チャネルの多様化による競合激化と消費不振、為替変動等の理由により業績は下降傾向にあり、平成19年2月期以降2期連続赤字を計上しております。一方、海外ブランド専門店として当社店舗における集客面での寄与は高いものと判断しております。そこで、エクセルを当社が吸収合併することで、海外ブランド品販売事業の継続と当社店舗の競争力の維持を図りつつ、同時に本社機能の共通化や、安定した企業基盤に基づく効率的な仕入・販促等の再構築を図り、さらに従業員の定着と再教育により販売力を改善し、当該事業の収益性を高めてまいります。

## ②合併の方式

当社を存続会社とする吸収合併方式で、ゆめタウン熊本及びエクセルは解散いたします。

なお、当社にとっていずれの合併も会社法第796条第3項に定める簡易合併手続きによるため、合併契約承認株主総会は開催しておりません。また、ゆめタウン熊本にとっては本合併は会社法第784条第1項に定める略式合併手続きによるため、合併契約承認株主総会は開催しておりません。エクセルは8月に臨時株主総会を開催しております。

## 合併スケジュール

平成20年4月11日	合併に関する基本合意
平成20年7月8日	合併契約承認取締役会開催及び合併契約締結
平成20年8月8日	エクセル合併契約承認株主総会開催
平成20年9月1日	合併効力発生、変更登記
平成20年10月10日	株券交付

## ③当該吸収合併の相手会社に係る事項（平成20年2月29日現在）

## i) ゆめタウン熊本

商号 株式会社ゆめタウン熊本  
 本店の所在地 熊本市田井島一丁目2番1号  
 代表者の氏名 代表取締役社長 吉田 恒彦  
 資本金の額 90百万円  
 純資産の額 6,584百万円  
 総資産の額 24,551百万円  
 事業の内容 衣料品、住居関連品、食料品等の販売

## ii) エクセル

商号 株式会社エクセル  
 本店の所在地 広島市西区商工センター二丁目3番1号  
 代表者の氏名 代表取締役社長 杉田 直隆  
 資本金の額 828百万円  
 純資産の額 1,088百万円  
 総資産の額 12,020百万円  
 事業の内容 海外ブランド品の卸小売

## iii) 最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び純利益

## ・ゆめタウン熊本

決算期	平成18年2月期	平成19年2月期	平成20年2月期
営業収益	27,057百万円	26,791百万円	26,726百万円
営業利益又は営業損失(△)	1,185百万円	1,087百万円	1,407百万円
経常利益又は経常損失(△)	1,164百万円	1,068百万円	1,376百万円
当期純利益又は当期純損失(△)	620百万円	2,835百万円	1,361百万円

## ・エクセル

決算期	平成18年2月期	平成19年2月期	平成20年2月期
営業収益	38,452百万円	34,112百万円	27,793百万円
営業利益又は営業損失(△)	597百万円	△228百万円	△405百万円
経常利益又は経常損失(△)	676百万円	△176百万円	△486百万円
当期純利益又は当期純損失(△)	213百万円	△999百万円	△1,019百万円

## ④合併比率について

ゆめタウン熊本は当社の100%子会社であるため合併比率は存在しません。

エクセルにつきましては、エクセルの株式1株に対して、当社普通株式0.13株を割当て交付いたします。ただし、当社が保有するエクセル株式2,993,700株については割当てを行いません。また、当社が保有する自己株式599,859株を充当するため、新株式の発行は行いません。

⑤消滅会社における反対株主の買取請求、新株予約権者の買取請求、債権者保護手続きの経過

エクセル及びゆめタウン熊本における反対株主の買取請求は該当ありません。また、エクセル及びゆめタウン熊本は新株予約権を発行していません。債権者保護手続きにつきましては、平成20年7月25日付で日本経済新聞及び官報において公告を掲載しましたが、異議申述期限である平成20年8月25日までに異議を申し出た債権者はありませんでした。

⑥存続会社における反対株主の買取請求、債権者保護手続きの経過

当社における反対株主の買取請求は該当ありません。債権者保護手続きにつきましては、平成20年7月25日付で日本経済新聞及び官報において公告を掲載しましたが、異議申述期限である平成20年8月25日までに異議を申し出た債権者はありませんでした。

⑦存続会社が消滅会社から承継した重要な権利義務に関する事項

当社は、エクセル及びゆめタウン熊本からその権利義務一切を承継いたしました。

⑧会計処理の概要

「企業結合に係る会計基準」 三 企業結合に係る会計基準 4 共通支配下の取引等の会計処理を適用して処理しております。

## 5 中間個別財務諸表

## (1) 中間貸借対照表

区分	前中間会計期間末 (平成19年8月31日)		当中間会計期間末 (平成20年8月31日)		前事業年度の 要約貸借対照表 (平成20年2月29日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(資産の部)						
I 流動資産						
1 現金及び預金	3,545		4,237		3,786	
2 売掛金	3,901		5,863		4,801	
3 たな卸資産	14,761		16,427		16,967	
4 その他	9,687		15,001		10,118	
5 貸倒引当金	△34		△31		△31	
流動資産合計		31,861		41,498		35,641
II 固定資産						
1 有形固定資産						
(1) 建物	89,647		103,541		96,916	
(2) 土地	78,409		85,958		81,049	
(3) 建設仮勘定	6,716		8,678		3,787	
(4) その他	11,533		13,837		12,658	
計	186,307	73.7	212,016	71.3	194,412	71.4
2 無形固定資産	4,714	1.8	6,756	2.2	4,894	1.8
3 投資その他の資産						
(1) 投資有価証券	8,035		7,638		7,529	
(2) 差入敷金及び保証金	16,186		21,846		22,054	
(3) その他	6,491		8,378		8,362	
(4) 貸倒引当金	△694		△694		△694	
計	30,017	11.9	37,169	12.5	37,252	13.7
固定資産合計		221,040		255,942		236,558
資産合計		252,901	100.0	297,441	100.0	272,200
(負債の部)						
I 流動負債						
1 買掛金	17,658		29,999		17,379	
2 短期借入金	27,000		18,406		32,789	
3 一年内償還予定 転換社債型 新株予約権付社債	-		19,075		-	
4 未払法人税等	3,735		3,623		3,661	
5 賞与引当金	1,728		1,841		1,218	
6 役員賞与引当金	1		0		2	
7 ポイント割引引当金	620		766		629	
8 商品券回収損失引当金	-		47		-	
9 その他	15,842		31,350		19,515	
流動負債合計		66,587		105,112		75,196

区分	前中間会計期間末 (平成19年8月31日)		当中間会計期間末 (平成20年8月31日)		前事業年度の 要約貸借対照表 (平成20年2月29日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
<b>II 固定負債</b>						
1 転換社債型新株予約権付社債	19,077		-		19,077	
2 長期借入金	49,221		86,797		76,274	
3 退職給付引当金	4,172		4,418		4,270	
4 役員退職慰労引当金	746		827		786	
5 預り敷金及び保証金	18,684		20,534		20,158	
6 その他	423		432		407	
固定負債合計	92,324	36.5	113,010	38.0	120,974	44.4
負債合計	158,912	62.8	218,122	73.3	196,170	72.1
(純資産の部)						
<b>I 株主資本</b>						
1 資本金	19,613	7.8	19,613	6.6	19,613	7.2
2 資本剰余金						
(1) 資本準備金	22,282		22,282		22,282	
(2) その他資本剰余金	197		197		197	
資本剰余金合計	22,479	8.9	22,479	7.5	22,479	8.3
3 利益剰余金						
(1) 利益準備金	2,094		2,094		2,094	
(2) その他利益剰余金						
特別償却準備金	260		230		230	
固定資産圧縮積立金	310		298		298	
別途積立金	60,436		69,736		60,436	
繰越利益剰余金	6,694		5,530		11,594	
利益剰余金合計	69,795	27.6	77,890	26.2	74,654	27.4
4 自己株式	△19,338	△7.6	△41,775	△14.0	△41,773	△15.3
株主資本合計	92,551	36.6	78,208	26.3	74,975	27.5
<b>II 評価・換算差額等</b>						
その他有価証券 評価差額金	1,437	0.6	1,109	0.4	1,054	0.4
評価・換算差額等合計	1,437	0.6	1,109	0.4	1,054	0.4
純資産合計	93,989	37.2	79,318	26.7	76,029	27.9
負債純資産合計	252,901	100.0	297,441	100.0	272,200	100.0

## (2) 中間損益計算書

区分	前中間会計期間 (自 平成19年3月1日 至 平成19年8月31日)		当中間会計期間 (自 平成20年3月1日 至 平成20年8月31日)		前事業年度の 要約損益計算書 (自 平成19年3月1日 至 平成20年2月29日)				
	金額(百万円)	百分比 (%)	金額(百万円)	百分比 (%)	金額(百万円)	百分比 (%)			
I 売上高	184,632	100.0	206,492	100.0	379,329	100.0			
II 売上原価	144,590	78.3	163,374	79.1	298,076	78.6			
売上総利益	40,041	21.7	43,117	20.9	81,253	21.4			
III 営業収入	8,254	4.5	10,647	5.1	17,654	4.7			
営業総利益	48,296	26.2	53,765	26.0	98,907	26.1			
IV 販売費及び一般管理費	38,451	20.8	45,645	22.1	78,907	20.8			
営業利益	9,845	5.4	8,119	3.9	20,000	5.3			
V 営業外収益	516	0.3	728	0.4	1,110	0.3			
VI 営業外費用	810	0.5	968	0.5	1,708	0.5			
経常利益	9,552	5.2	7,880	3.8	19,402	5.1			
VII 特別利益	0	0.0	1	0.0	521	0.1			
VIII 特別損失	1,167	0.6	976	0.5	1,799	0.5			
税引前中間(当期)純利益	8,384	4.6	6,904	3.3	18,125	4.8			
法人税、住民税 及び事業税	3,627		3,571		7,570				
法人税等調整額	△165	3,462	1.9	△660	2,910	1.4	△85	7,485	2.0
中間(当期)純利益	4,922	2.7	3,993	1.9	10,639	2.8			

## (3) 中間株主資本等変動計算書

前中間会計期間(自 平成19年3月1日 至 平成19年8月31日)

項 目	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
平成19年2月28日残高(百万円)	19,613	22,282	176	22,458
中間会計期間中の変動額				
自己株式の処分			21	21
中間会計期間中の変動額合計(百万円)	—	—	21	21
平成19年8月31日残高(百万円)	19,613	22,282	197	22,479

項 目	株主資本					
	利益剰余金					
	利益準備金	その他利益剰余金				利益剰余金合計
		特別償却準備金	固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金	
平成19年2月28日残高(百万円)	2,094	260	310	53,036	10,030	65,732
中間会計期間中の変動額						
別途積立金の積立				7,400	△7,400	—
剰余金の配当					△858	△858
中間純利益					4,922	4,922
自己株式の取得						—
自己株式の処分						—
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)						—
中間会計期間中の変動額合計(百万円)	—	—	—	7,400	△3,336	4,063
平成19年8月31日残高(百万円)	2,094	260	310	60,436	6,694	69,795

項 目	株主資本		評価・換算差額等	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	
平成19年2月28日残高(百万円)	△19,423	88,380	1,974	90,354
中間会計期間中の変動額				
別途積立金の積立		—		—
剰余金の配当		△858		△858
中間純利益		4,922		4,922
自己株式の取得	△6	△6		△6
自己株式の処分	91	113		113
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)		—	△536	△536
中間会計期間中の変動額合計(百万円)	85	4,170	△536	3,634
平成19年8月31日残高(百万円)	△19,338	92,551	1,437	93,989

当中間会計期間(自 平成20年3月1日 至 平成20年8月31日)

項 目	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
平成20年2月29日残高(百万円)	19,613	22,282	197	22,479
中間会計期間中の変動額				
自己株式の処分			0	0
中間会計期間中の変動額合計(百万円)	-	-	0	0
平成20年8月31日残高(百万円)	19,613	22,282	197	22,479

項 目	株主資本					
	利益剰余金					利益剰余金合計
	利益準備金	その他利益剰余金				
特別償却準備金		固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金		
平成20年2月29日残高(百万円)	2,094	230	298	60,436	11,594	74,654
中間会計期間中の変動額						
別途積立金の積立				9,300	△ 9,300	-
剰余金の配当					△ 757	△ 757
中間純利益					3,993	3,993
自己株式の取得						-
自己株式の処分						-
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)						-
中間会計期間中の変動額合計(百万円)	-	-	-	9,300	△ 6,063	3,236
平成20年8月31日残高(百万円)	2,094	230	298	69,736	5,530	77,890

項 目	株主資本		評価・換算差額等	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	
平成20年2月29日残高(百万円)	△ 41,773	74,975	1,054	76,029
中間会計期間中の変動額				
別途積立金の積立		-		-
剰余金の配当		△ 757		△ 757
中間純利益		3,993		3,993
自己株式の取得	△ 4	△ 4		△ 4
自己株式の処分	1	2		2
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)		-	55	55
中間会計期間中の変動額合計(百万円)	△ 2	3,233	55	3,288
平成20年8月31日残高(百万円)	△ 41,775	78,208	1,109	79,318

前事業年度(自 平成19年3月1日 至 平成20年2月29日)

項 目	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
平成19年2月28日残高(百万円)	19,613	22,282	176	22,458
事業年度中の変動額				
自己株式の処分			21	21
事業年度中の変動額合計(百万円)	-	-	21	21
平成20年2月29日残高(百万円)	19,613	22,282	197	22,479

項 目	株主資本					
	利益準備金	利益剰余金				利益剰余金合計
		その他利益剰余金				
		特別償却準備金	固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金	
平成19年2月28日残高(百万円)	2,094	260	310	53,036	10,030	65,732
事業年度中の変動額						
特別償却準備金の積立		28			△28	-
特別償却準備金の取崩		△58			58	-
固定資産圧縮積立金の取崩			△11		11	-
別途積立金の積立				7,400	△7,400	-
剰余金の配当					△1,717	△1,717
当期純利益					10,639	10,639
自己株式の取得						-
自己株式の処分						-
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)						-
事業年度中の変動額合計(百万円)	-	△29	△11	7,400	1,563	8,922
平成20年2月29日残高(百万円)	2,094	230	298	60,436	11,594	74,654

項 目	株主資本		評価・換算差額等	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	
平成19年2月28日残高(百万円)	△19,423	88,380	1,974	90,354
事業年度中の変動額				
特別償却準備金の積立		-		-
特別償却準備金の取崩		-		-
固定資産圧縮積立金の取崩		-		-
別途積立金の積立		-		-
剰余金の配当		△1,717		△1,717
当期純利益		10,639		10,639
自己株式の取得	△22,441	△22,441		△22,441
自己株式の処分	91	113		113
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)		-	△919	△919
事業年度中の変動額合計(百万円)	△22,349	△13,405	△919	△14,324
平成20年2月29日残高(百万円)	△41,773	74,975	1,054	76,029